

令和8年度 第76回“社会を明るくする運動” 実施報告会

日時: 令和8年9月10日(木)

午後1時30分～

場所: 豊島区役所1階 としまセンタースクエア

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ



犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ

第76回 社会を明るくする運動

主催 / 法務省



“社会を明るくする運動” 豊島区推進委員会

第 76 回“社会を明るくする運動”

豊島区実施報告会 式次第

令和 8 年 9 月 10 日（木）

午後 1 時 30 分～

豊島区役所 1 階

としまセンタースクエア

1. 開会のことば

2. あいさつ

推進委員長（区長）

常任委員長（保護司会会長）

教育長

3. 感謝状贈呈（運動協力者への贈呈）

4. 来賓紹介

5. 行事報告 5～8 地区、保護司会、BBS 会

6. 経過報告

7. 総 評 東京保護観察所

8. 閉会のことば

※終了予定 午後 3 時 00 分

目 次

1) 行事経過報告	1
2) 会計報告	4
3) 行事等報告	
第 1 地区	5
第 2 地区	7
第 3 地区	9
第 4 地区	10
第 5 地区	14
第 6 地区	16
第 7 地区	18
第 8 地区	20
第 9 地区	21
第 10 地区	25
第 11 地区	26
第 12 地区	27
更生保護ボランティアの日	28
区民のつどい	29
豊島区 BBS 会	30
立教大学 BBS 会	31
4) 豊島区推進委員会構成	32

第 76 回 “社会を明るくする運動” 行事経過報告

◆運動実施期間 令和 8 年 7 月（社会を明るくする運動強調月間）を主としている

◆行 動 目 標

- ① 犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと
- ② 犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること

◆重 点 事 項

- ① 誰もが抱えうる問題が犯罪や非行の要因となりうることや、人は変われるということを信じて寄り添い続ける更生保護の活動は、再犯を防止して立ち直りを支える大切な活動であることについて、国民の各層に広く周知し、理解を深めてもらうための取組
- ② 犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な方法があることを示し、多くの人に協力者として気軽に参加してもらうための取組
- ③ 同じ地域社会の一員である保護司、更生保護女性会会員、BBS 会員、協力雇用主等の更生保護ボランティアの活動に対する支援の充実を図るほか、積極的な広報等により、なり手を増やすための取組
- ④ 民間協力者と国・東京都との連携を強化しつつ、犯罪や非行をした人が、仕事、住居、教育、保健医療・福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークをつくる取組
- ⑤ 犯罪や非行が起これないように、子どもや若い人たちの健やかな成長を期する取組

1 会議開催状況

(1) 推進委員会

5 月 22 日（金）	午後 1 時 30 分～	区役所 1 階としまセンタースクエア (実施方法の決定、青少年指導者合同研究会開催)
-------------	--------------	---

(2) 常任委員会

4 月 21 日（火）	午後 6 時 30 分～	区役所 507・508 会議室 (推進委員会について)
6 月 15 日（月）	午後 6 時 30 分～	区役所 507・508 会議室 (区民のつどい、地区行事について)
8 月 3 日（月）	午後 6 時 30 分～	区役所 507・508 会議室 (実施報告会について、区民のつどいの反省)

(3) 実施報告会

9 月 10 日（木）	午後 1 時 30 分～	区役所 1 階としまセンタースクエア (協力者へ感謝状贈呈、運動経過・行事の報告)
-------------	--------------	--

2 行事实施状況

(1) 「国際更生保護ボランティアの日」

日時：4月17日（金）午後3時～午後6時30分

場所：巣鴨地蔵通り商店街、巣鴨地域文化創造館 中山道待夢

内容：セレモニー、街頭広報活動、イエローライトアップ点灯式

(2) 中央大会「区民のつどい」

日時：7月5日（日）午後1時30分～午後5時00分

場所：区役所 1階としまセンタースクエア

内容：第一部 開会セレモニーに続き、作文コンテストの表彰式・発表

第二部 BBS活動発表・映画「記憶2」上映・社明合唱団の発表

(3) 広報活動

① 区広報・としまテレビにて運動の趣旨説明、広報、協力要請

② チラシの配布・掲示（区内各所・区内各町会）、各地区でリーフレットの配布

(4) 施設見学研修会

日時 10月16日（金） 午後2時00分～午後3時30分（予定）

訪問先 更生保護法人 東京実華道場 ステップ押上

内容 施設の概要、施設内の見学、質疑応答

参加者 23名程度

(5) 作文コンテスト

募集期間 4月6日（月）～5月8日（金）

応募作品数 総数1,173作品（小学生 589作品・中学生 584作品）

一次審査 日時：5月25日（月）～6月1日（月）

審査員：教育部指導課

最終審査 日時：6月15日（月）午後6時00分～

場所：区役所 508会議室

審査員：常任委員長、推進委員7名

優秀作品 推進委員長賞 （小学生1点・中学生1点）

常任委員長賞 （小学生1点・中学生1点）

優秀賞 （小学生3点、中学生3点）

計 10作品 （小学生5点・中学生5点）

地区優良賞 18作品（応募があった小中学校から1作品）

(6) 地区等の行事活動 5ページ以降に掲載

3 運動に対する協力・寄贈関係者内訳 (敬称略)

(1) 協力金 530,000 円 (8 月 25 日時点)

寄附関係団体：寺社 5 院、企業等団体 11 団体 (五十音順)

株式会社アズマ、株式会社サンシャインシティ、株式会社鈴和、株式会社藤久不動産、株式会社東武百貨店、公益社団法人豊島法人会、宗教法人高岩寺、宗教法人西福寺、宗教法人祥雲寺、宗教法人眞性寺、宗教法人法明寺、巣鴨信用金庫椎名町支店、東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、豊島区保護観察協会

(2) 寄贈品 クリアファイル・ボールペン等 200 セット

寄贈関係団体：企業等団体 1 団体

東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会

4 感謝状を受賞される方々 (敬称略)

[寺社]

宗教法人 高岩寺、宗教法人 西福寺、宗教法人 祥雲寺、
宗教法人 眞性寺、宗教法人 法明寺、 (五十音順)

[企業・団体等]

株式会社 アズマ	株式会社 サンシャインシティ
株式会社 鈴和	株式会社 藤久不動産
株式会社 東武百貨店	公益社団法人豊島法人会
巣鴨信用金庫椎名町支店	東京商工会議所豊島支部
豊島区商店街連合会豊島区町会連合会	豊島区町会連合会
豊島区保護観察協会	東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会

(五十音順)

[推進委員会推薦]

氏名・団体名	推薦団体
巣鴨信用金庫	第 1 地区
Studio∞AXIS	第 4 地区
NPO 法人富士見台ひろば	第 6 地区
豊島区立椎名町小学校	第 7 地区
豊島区立要小学校	第 8 地区
豊島区立高松小学校	第 9 地区
豊島区立駒込中学校吹奏楽部 豊島区立駒込中学校 PTA	第 10 地区
豊島区立池袋中学校吹奏楽部	第 11 地区
巣鴨地藏通り商店街振興組合	推進委員会

第76回“社会を明るくする運動” 会計報告

令和8年8月25日現在

1 収入の部

豊島区補助金	900,000 円
豊島区保護司会助成金	256,000 円
協力金	530,000 円
雑収入(利息等)	1,257 円
前年度繰越金	377,843 円
合計	2,065,100 円

2 支出の部

常任委員会経費	0 円
推進委員会経費	0 円
広報活動費※1 (区民のつどいポスター・チラシ・作文コンテスト参加賞など)	149,090 円
区民のつどい経費	49,776 円
地区推進委員会活動補助金 @ 88,000 × 9地区=792,000 内 訳 @ 84,000 × 3地区=252,000 戻入金 ▲0	1,044,000 円 【区補助金900,000円を充当】
施設見学研修会経費	0 円
事務局経費(郵送費、消耗品等)	34,330 円
実施報告会等経費(見込み)※2	30,000 円
合計	1,307,196 円

以上、会計期間は令和8年1月1日～令和8年8月25日まで

※1 作文コンテスト参加賞を支出見込み

※2 令和8年8月25日以降の支出見込み

(主に実施報告会、12月常任委員会、消耗品費等)

3 翌年度繰越金

収入の部	—	支出の部	757,904 円
2,065,100		1,307,196	

第 1 地区行事報告

行事名	第 44 回社明ポスター展
日時	7 月 1 日 (水)～7 月 31 日 (金)
場所	巢鴨信用金庫 本店ロビー
内容	社明運動の啓蒙活動と広報活動を兼ねて、地域の子どもたちが描いたポスターを展示した。 地域の多くの方々の目に止まるものだった。 子どもスキップ仰高、清和、西巢鴨、朝日と巢鴨北中学校の子どもが参加。
参加人員	89 名

行事名	夏休みラジオ体操
日時	7 月 18 日 (土)～8 月 28 日 (金)
場所	地区内学校校庭、公園、空地等
内容	夏休みに規則正しい生活を過ごし、健康な身体と心を作る。 地区内の 10 町会で実施されたラジオ体操に協力参加。 暑い中たくさんの子ども達に参加してくれた。
参加人員	小・中学生、大人延べ人数 3590 名

第 1 地区行事報告

行事名	巢鴨盆踊り大会、西巢鴨新田町会盆踊り、巢鴨納涼盆踊り
日時	7 月 17 日 (金)～19 日 (日) 18:00～21:00 7 月 25 日 (土)・26 日 (日) 15:20～17:50
場所	巢鴨駅前ロータリー、西巢鴨小学校校庭、高岩寺
内容	子ども達の見守りとお手伝いで協力、協賛し、近隣町会・商店街との交流を深めた。
参加人員	小中高校生、大人延べ 21,000 人

行事名	第 17 回子ども広場（予定）
日時	10 月 31 日 (土) 14 時 30 分～16 時 00 分
場所	豊島青果市場
内容	幼児から小・中学生を対象に、ゲーム等を行うお楽しみ会。 仰高、清和、西巢鴨、朝日小学校と巢鴨北中学校の PTA の方にもお手伝いいただき、近隣町会との交流を深める。
参加人員	

第 2 地区行事報告

行事名	朋有小学校クリーン作戦
日時	6 月 28 日 (日) 9 時 10 分～13 時 00 分
場所	朋有小学校～西巣鴨中学校体育館（第 12 地区合同）
内容	朋有小学校集合～向原電停～都電沿い道路を移動（ゴミ状況観察） ～西巣鴨中学校到着 西巣鴨中学校体育館にて第 12 地区の「つどい」に合流 第 12 地区と合同で警察講話。→「つどい」行事に参加 保護者同伴なしの児童はいなかったため朋有小学校まで帰校・解散。
参加人員	67 名（内訳：幼 11、児童 25、保護者 16、教員 3、委員 12 ）

行事名	豊成小学校クリーン作戦
日時	7 月 28 日 (火) 10 時 00 分～11 時 30 分
場所	豊成小学校体育館
内容	豊成小学校体育館集合 育成会長・校長先生より挨拶 巣鴨警察生活安全課より少年犯罪に関する注意喚起 DVD を視聴 巣鴨警察署少年係長より DVD に関する講話 育成委員より生活環境（廃棄物）に関して Q & A 形式で質問・回答。
参加人員	48 名（内訳：児童 14、保護者 1、教員 15、警察署 1、委員 14、他 3）

第 2 地区行事報告

行事名	納涼サンシャイン盆踊り大会（無料子どもゲームコーナー）
日時	7 月 30 日～8 月 1 日（木・金・土）19 時 00 分～20 時 30 分
場所	サンシャイン 60 4F 屋上広場
内容	上記日程でサンシャイン盆踊り大会の無料子どもゲームコーナー運営 18:00 委員集合 ゲームコーナーの設営 19:00 ゲームコーナー開始（輪投げ、射的の 2 種目） 20:00 ゲームコーナー待機列の人数の様子を見て受付を終了 20:30 ゲームコーナーを片付、用具類を保管場所へ移動 （初日は雨天中止、他 2 日間同じ。最終日は用具類引き上げ）
参加人員	（2 日間の合計） 参加客約 600 名＋（スタッフ：委員延 70 名、参加企業ボランティア延 30 名）

第 3 地区行事報告

行事名	ミニ縁日と花火大会
日時	7 月 25 日 (土) 18 時 00 分～20 時 00 分
場所	西池袋公園（かなあみ公園）
内容	第三地区では夏休みに入った 7 月最終土曜日、夏の恒例行事として「ミニ縁日と花火大会」を開催しています。毎年消防団の方々には、縁日に必要な水の確保や、公園内に放水し、少しでも涼しく感じられるようにしていただき、来場者の安全を見守っていただいています。 ◎全体の流れ ・ 17:00 委員集合（ミニ縁日と花火大会の準備） ・ 17:30 消防団による放水訓練 整理券配布 ・ 18:00 受付開始（社明パンフレットシール配布） ・ 18:15 開会式 ・ 18:30 ミニ縁日開始 （輪投げ・スーパーボールすくい・ストラックアウト） ・ 19:00 手持ち花火配布 ・ 19:20 打上げ花火開始 ・ 20:00 終了 ◎感想 天候の急変が大変気になる中でのスタートでしたが、今年も大勢の子どもたちやご家族の皆様にお集まりいただきました。ミニ縁日では終始賑やかな笑い声に包まれ、日没後に行われた花火大会では、手持ち花火を楽しみ、打上げ花火では大きな歓声が上がり、終始賑やかな会場となりました。高際区長をはじめ、多くの来賓の皆様、PTA 保護者の皆様にお集まりいただきましたことを感謝いたします。
参加人員	486 名（内訳：3 才～中学生 225 名 2 才以下 23 名 大人 238 名）

第 4 地区行事報告書

行事名	子ども見守りパトロール〔強化〕 鬼子母神夏市
日時	7 月 6・7・8 日（月～水）18 時 50 分～20 時 00 分
場所	鬼子母神周辺
内容	【目的】 安心安全な地域作りのため、境内周辺施設を歩き、パトロールをおこなう。 ・ 児童たちは 18 時以降、保護者と一緒になっているので、子どもたちだけで行動していた場合、声をかけ、保護者と一緒にいるように促す。 ・ 周辺をパトロールしながら行き交う人々に挨拶をして、声かけをすることで明るく安全な地域作りをすすめた。挨拶を返してくれるので効果を感じる。 ・ パトロール用のベスト、警備用のライトをつけてパトロールを行うので注意喚起になる。 ・ 熱中症対策として、パトロール中に水分補給をした。 補足：雷雨のため 6 日のパトロールは集まれる人だけで行った。 パトロールする人の安全にも配慮が必要。
参加人員	合計 32 名 保護司会、南池袋小学校 PTA、育成委員 （内訳：6 日→4 名 7 日→15 名 8 日→13 名）

第 4 地区行事報告書

行事名	子ども見守りパトロール〔強化〕 鬼子母神盆踊り
日時	7 月 31 日（金）、8 月 1 日（土）18 時 50 分～20 時 00 分
場所	鬼子母神周辺
内容	【目的】 安心安全な地域作りのため、境内や周辺施設を歩き、パトロールをおこなう。 ・ 児童たちは 18 時以降、保護者と一緒になっているので、子どもたちだけで行動していた場合、声をかけ、保護者と一緒にいるように促す。 ・ 周辺をパトロールしながら行き交う人々に挨拶をして、声かけをすることで明るく安全な地域作りをすすめた。 ・ パトロール用のベスト、警備用のライトをつけてパトロールを行うので注意喚起になる。 ・ 盆踊りは、町会や警察署、消防署など様々な団体が警備等に協力している。互いに支え合う地域の連携がある。 ・ 熱中症対策として、パトロール中に水分補給をした。 補足：雷雨のため当初 7/24, 25（金、土）から 1 週間延期になった。 また、31 日は雷雨のためパトロールは集まれる人だけで行った。 急な天気の変化が多い。
参加人員	合計 21 名 保護司会、南池袋小学校 PTA、育成委員 （内訳：7/31→9 名 8/1→12 名）

第 4 地区行事報告書

行事名	おしえて！おまわりさん 正しい自転車ルール
日時	10 月 12 日（月・祝）10 時 30 分～11 時 30 分
場所	南池袋小学校 体育館
内容	【目的】自転車の安全な乗り方を学ぶ。ルールを守ること、安心安全な生活を送ることができる。1 人 1 人の行動が社会を明るくすることを伝える。 【参加対象】地域の小学生、保護者、地域の方々 30 名程度 【講師】警視庁目白警察署 交通課 【講習内容】 1) 正しい自転車のルール 2) 交通安全教室（ヘルメットのかぶり方など） 3) 自転車の正しい乗り方〇×クイズ ◆6/27（土）開催予定でしたが、台風の影響で一旦中止 10 月に再度開催するので準備中です。
参加人員	予定人数 50 名 （内訳 一般参加者＋来賓＋運営スタッフ）

第 4 地区行事報告書

行事名	清掃活動みんなで街をきれいにしよう！
日時	12 月 5 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分
場所	大鳥神社、 鬼子母神とその周辺地域
内容	【目的】「地域の清掃活動」を開催します。きれいな街には犯罪も少ないと言います。私たちの街を、みんなできれいにお掃除します。 チラシを作り、小学 4～中学 3 年生に配布。清掃活動参加者を小学校と中学校で募る。 近隣の皆様も参加していただき地域をきれいにして明るい社会づくりをすすめる。 【当日の流れ】 13：30 開会挨拶 目白警察署の方からのお話し 清掃場所確認、その他説明 清掃場所へ移動し清掃開始 清掃終了 みみずく公園集合 参加賞渡す 15：00 解散
参加人員	予定人数 50 名（内訳：児童、生徒、大人、運営スタッフ）

第 5 地区行事報告

行事名	親子で学ぶ！防災館体験ツアー
日時	令和 8 年 7 月 18 日（土）12：15～15：30
場所	東京都墨田区横川 4-6-6 東京消防庁 本所防災館
内容	■ 防災シアター鑑賞 約 20 分の映像では「東日本大震災」「阪神淡路大震災」「関東大震災」の当時の被害の様子がアニメーションで描かれ「突然襲う大地震から命を守る為の行動とは？」が描かれています。 ■ 都市型水害体験 線状降水帯の発生による水圧のかかった地下や車が浸水した時のドアを開ける体験チャレンジ。ドアの開放には水位 10 cm、20 cm、30 cm と水深が変わった時の水圧を体験。一番浅い 10 cm は開けることができますが、30 cm の水圧を開けるのも大人でも難しい。車内にドアガラスを割る道具を常備するなどが必要と実感しました。 ■ 暴風雨体験 先日の大雨の際には第 5 地区に隣接する神田川に氾濫警報が発令されるなど「水害」はすぐそこにあるもの。暴風雨体験では、雨具と長靴、マスクを装着し、50mm/h（大人）と 30mm/h（小学生）の暴風雨を体験。風が強すぎて前を向くことは出来ず、傘をさして歩くことは絶対に不可能。自分の身を護る為にも天気予報をまめにチェックし、不必要な外出を避けるなどの行動が必要だと改めて感じました。 ■ 煙体験 地震の後に起こる可能性が高いのが火災。煙体験コーナーでは煙の特性を知ることによって正しい避難方法を身につけることが出来ます。上にあがっていく煙の特性を生かして、避難時は口と手を左手で押さえ、右手の甲部分で壁の温度を確認しながら進むことで避難路を確保することが出来ます。普段あまりその存在を確認していない誘導灯が非常時にいかに大切な役割を果たすかを知る良いきっかけとなりました。

第 5 地区行事報告

	■ 地震体験 「熊本地震」「関東大震災」「阪神淡路大震災」の実際の揺れを体験。今回の体験では事前に身構えて揺れる体験をしましたが、これが日常生活の中で突然起こることを考えると非常に怖い。実際の揺れの最中は「だんごむし」のポーズでひたすら揺れが収まるのを待つしか出来ません。立ち上がって行動を起こすのは不可能。倒壊しやすい家具の固定や道路にもものを置かないと言った事前の備えと「いつ発生してもおかしくない」という心の準備が重要です。 今回の防災体験が『子ども達に恐怖体験として記憶に残るのでは??』と心配される方もいるかと思います。しかし、それは違います。私たちが相手にするのは、いつ起こるか予想できない「自然災害」。起こって欲しくないものですが、近年の地球温暖化による大量の大型台風発生や今後 30 年以内に必ず発生するであろう南海トラフ地震、首都圏直下地震など自然災害は私たちの生活のすぐ側にあるもの。怖いからと言って災害への不安に蓋をしてしまうのではなく、適切な情報を知識として吸収し『正しく恐れる』姿勢が大切です。
参加人員	33 名 内訳：一般 23 名（大人 10 名、小学生 10 名、幼児 3 名）、 育成委員 10 名

第 6 地区行事報告書

行事名	夏のお楽しみ会
日時	7 月 26 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分
場所	豊島区立富士見台小学校
内容	地区大会【パート 1】小学生対象の遊びを中心にした内容 開会式： 豊島区推進委員長である区長高際みゆき様、清野教育長はじめ多数のご来賓にご臨席をいただきました。 第 1 部： がんばっている子どもたちの活躍や地域の伝統文化の紹介 ・ 空手演武（沖縄剛柔空手道要町空手道会） ・ 高校生ライブ（中高生センタージャンプ長崎の高校生ディオ） ・ 長崎獅子舞演舞（獅子連と一緒にふんごみ舞を体験しました！） 第 2 部： 「さあ～みんなで楽しもう！」の合図でスタート！乳幼児から中高生がそれぞれのコーナーを回って夢中で楽しんでいました。 ・ ゲーム（ストラックアウト/ポイントあて/わなげ/ボルダリング） ・ 乳幼児コーナー（乳幼児親子対象のおもちゃ作り） ・ かき氷コーナー（参加者もスタッフも全員楽しめ、家族や友だちがかき氷を食べながらおしゃべりできるほっこりスペースです）
参加人員	385 名（内訳：小学生 126 名、中高生 14 名、乳幼児 41 名、大人 204 名）

第 6 地区行事報告書

行事名	夏のコンサート
日時	8 月 29 日（土） 13 時 30 分～15 時 00 分
場所	豊島区立西池袋中学校 体育館
内容	地区大会の【パート 2】 「地域を支える西池中のチカラ」と題して生徒が発信する社明運動 開会式：豊島区推進委員長である区長高際みゆき様、清野教育長はじめ多数のご来賓にご臨席をいただきました。 第 1 部：豊島区作文コンテスト入賞者の紹介と記念品授与 入賞した児童・生徒を紹介して記念品を差し上げました。 小学生の部 長崎小学校児童 2 名 中学生の部 西池袋中学校生徒 2 名 第 2 部：西池袋中学校吹奏楽部の演奏会 生徒たちの個性豊かな演目紹介が演奏会を更に盛り上げ、 会場が拍手と笑顔いっぱいになりとても楽しい演奏会でした。 もっと聴きたかったな～と思いながら閉会となってしまいました。
参加人員	182 名（内訳：小学生 10 名、中高生 32 名、乳幼児 5 名、大人 135 名）

第 7 地区行事報告

行事名	椎名町小学校鼓笛隊の演奏
日時	6 月 20 日（土）9 時 45 分～11 時 30 分
場所	椎名町小学校体育館
内容	今回は、残念ながら朝から雨天のため、会場は、予定していたトキワ荘公園ではなく、椎名町小学校の体育館での開催となりました。多くの保護者も観覧する中、高際区長をはじめ地域の町会長など来賓を迎え、開会式を行いました。 そして、椎名町小学校 5・6 年生が、「聖者の行進」「鉄腕アトム」の 2 曲を演奏しました。天気がよければ、トキワ荘公園で披露する予定で練習してきた演奏・演技でした。しかし、急遽の屋内開催になったにもかかわらず、子どもたちは堂々とした姿で、楽器を演奏しながら隊形を移動したり、迫力あるフラッグ演技を披露。これまでの練習の成果を感じさせる見事なものでした。鑑賞した多くの観客が子どもたちに惜しみない拍手を送っていました。 休憩の後、今度は、本来なら校庭で演奏する予定だった演奏・演技を披露してくれました。開会式後の時とはまた別の隊形変化をするなど、新たな感動の演奏となりました。 トキワ荘公園でより多くの方に見ていただけなかったのは残念でしたが、どんな状況でも全力を尽くす子どもたちの姿に、大いに元気もらいました。 私たち第 7 育成委員会は、鼓笛隊の演奏を通じて、地域の皆様に「社会を明るくする運動」の P R をしました。
参加人員	454 名（内訳：児童 408 名・町会 20 名・PTA 6 名・委員 20 名）

第 7 地区行事報告

行事名	社会を明るくする運動ポスター展示
日時	7 月 1 日（水）～7 月 31 日（金）
場所	西武池袋線東長崎駅自由通路
内容	椎名町小学校 4 年生とさくら小学校 5 年生の児童が「社会を明るくする運動」をテーマにポスターを作成してくれました。 合計 120 枚ほどのポスターを、東長崎駅の自由通路に貼り出しました。ポスターは、「水を大切に」「食品ロスをへらそう」と通行者に呼びかけるものや、花の絵と共に「ゆめは必ずかなう」「優しい心で前に進もう」といった励ましの言葉が描かれたものなど、力作ぞろいでした。 子どもたちの素直な気持ちがカラフルに表現されていて、駅の通路だけでなく、行き交う人の心を明るくしていました。 ポスターの駅の壁への貼り出し、取り外しを委員で行いました。
参加人員	156 名（内訳：児童 136 名・委員 20 名）

第 8 地区行事報告

行事名	ハチハチ祭り
日時	7 月 12 日(日) 14 時 50 分受付開始 15 時～17 時
場所	千早小学校 体育館
内容	今年度も「第 76 回社会を明るくする運動」の一環として地域行事「ハチハチ祭り」を無事開催することができました。本行事は地域の児童・生徒・保護者・協力者が一堂に会し、ふれあいや笑顔を通して、非行防止と健全育成を図ることを目的としています。 昨年同様、猛暑対策として冷房のある体育館にて実施し、受付時間を 2 回に分けることにより混雑を避ける工夫を行いました。参加児童は短冊に願いを書き、立派な笹竹に飾り付けをした後、各コーナーでゲームを楽しみました。中高生ボランティアは、受付、七夕飾り、ゲーム、景品渡しと広範囲に担当してくれました。 ゲームコーナーは以下の通りです： ① 輪投げ（さくら小 PTA） ② コリントゲーム（要小 PTA） ③ ひもくじ（明豊中 PTA） ④ ストラックアウト（千早小 PTA、中高生ボランティア） ⑤ 射的（中高生ボランティア） 子どもたちは得点に応じてランク分けされた景品を楽しみに挑戦していました（得点ランク 5 段階：裏神様～神様）。高得点の「神様」ランクに達した子どもは昨年より大幅増加の 17 名、逆に低得点をとるのが難しい「裏神様」も 2 名となり会場全体が盛り上がりました。 また、地域の町会や団体から協賛支援を頂き、豊島区長ならびに子ども若者課長をはじめ、各学校長および先生方、各町会長、豊島保護司会副会長等来賓の皆様にもご来場いただき、地域連携の深さを改めて感じる場となりました。 事故・怪我もなく、参加者全員が健康に過ごし、笑顔あふれる行事となったことをご報告いたします。
参加人員	579 名 （内訳：小中学生 282 名/幼児 65 名/保護者 145 名/PTA お手伝い 16 名/中高生ボランティア 25 名/ 来賓 17 名/委員 29 名）

第 9 地区行事報告

行事名	高松小学校 4 年生 SDGs の取り組み「わくわく高松」
日時	令和 8 年 6 月 24 日（水）10 時 25 分～12 時 00 分 令和 8 年 6 月 29 日（月）10 時 40 分～12 時 15 分
場所	高松小学校学区域（地域） および 高松小学校家庭科室
内容	【地域の方々との連携の取組として】 本校第 4 学年（3 学級 児童数 99 名）は、総合的な学習の時間において SDGs をテーマに、「地域とつながる 地域にまなぶ」を合言葉に学習を進めてきた。まずは地域めぐり（町たんけん）を行い、高松小学校の地域の特色を自分の目で確かめ、公共施設、文化財、商店街などを調べ、学区内の特色を方面ごとまとめた。そのなかで、子どもたちが感じた地域への思いや願いを聞き取り、地域へ 4 年生としてどのような取り組みができるかを話し合いながら、具体的な活動計画を組むようにしていった。 ○令和 8 年 6 月 24 日（水）10 時 25 分～12 時 00 分 この日は、4 年生が自分の思いと希望によりグループを編成し、以下のような活動を実施した。 ・地域をもっときれいにしたいとの思いから「地域清掃グループ」 ・学級園（畑）である「高松農園」の収穫後の葉や茎から、新たな栽培活動を生み出せるように、腐葉土を作る活動。 ・ポイ捨てを防止できるようにポスターを掲示して啓発していく活動。 ・各家庭で不必要になった飲食物をフードドライブとし学区内のコンビニやスーパーで陳列。また、フードロスの活動として給食の残食を減らす取組を実践。 ・「あさやけ子ども食堂」へのボランティア活動、お手伝い活動 ・高松 2 丁目児童遊園のお花の手入れ、花の植え替え ○令和 8 年 6 月 29 日（月）10 時 40 分～12 時 15 分 ・不必要になった衣類を集め、古着リメイクを進める活動。地域の方や保護者が協力し、各家庭から集めた古着から「くるみぼたん」を作成し、紙ゴムを新たに作る活動を実施。
参加人員	125 名 (内訳：4 年生 99 名・教職員 8 名・保護者地域の方々 18 名)

第 9 地区行事報告

行事名	七夕飾りを作ろう
日時	6 月 26 日(金)10 時 35 分～12 時 10 分
場所	要小学校 1 年 1 組、1 年 2 組、すずかけ学級
内容	○日本の伝統行事である「七夕」について知り、一人ひとり心を込めて七夕飾りを作る。また、作った飾りを使って、教室の竹に飾りつけをする。 ・主事さんにあらかじめ校庭の竹を切ってもらい、各教室分の竹を用意する。 ・四角や三角、短冊形の折り紙を用意する。児童は 4～5 人グループになり、個人または協力し合って七夕飾りを作る。 ・教師や育成委員は、教室を巡回指導し、飾りづくりで困っている子への支援や教材の補充等にあたる。 ・完成した飾りは、各教室に用意した竹に飾る。その際、教師や育成委員は竹を横に倒し、児童が飾り付けしやすいようにする。また、飾りつけで困っている児童の支援をする。 ・用具の片付けを行い、本日の体験を振り返る。 ・育成委員に感謝の気持ちを伝える。
参加人員	90 名 (内訳：1 年 1 組 32 名、1 年 2 組 32 名、すずかけ 17 名、教職員等 9 名)

行事名	①七夕かざりづくり ②短冊を書こう
日時	①6 月 18 日(木)～7 月 1 日(水) 2:30～4:00 ②7 月 2 日(木)～7 月 7 日(火) 2:30～4:00
場所	子どもスキップ要 セカンド (①②とも)
内容	①七夕かざりづくり 6/18～7/1 に「織姫・彦星」「星かざり」「吹き流し」の飾りを折り紙、お花紙で作成した。 スキップの天井にリボンテープを掛け、随時飾った。 ②短冊を書こう 7/2～7/7 で短冊を用意し、願い事を書いて、笹に飾った。 ・7/1～学校にある笹をもらい、スキップ玄関に設置。 ・7/8 午前中に笹を撤収、解体作業。 ・7/8～7/11 に飾りを返却した。 ・別紙 写真を添付
参加人員	計 148 名 (内訳：①103 名、②45 名)

第 9 地区行事報告

行事名	かなめえんにち
日時	8 月 20 日（木）2 時 30 分～4 時 00 分
場所	子どもスキップ要 セカンド
内容	<準備> ① お店（射的、わなげ、一円玉おとし、くじびき） 7 月 13 日（月）から、スタッフを募集。 7 月 17 日（金）スタッフ会議 話し合いでお店の担当を決める。 夏休みにお店ごとに集まり、「子ども企画書」「看板・ルール表・ゲーム作り」などえんにちの準備を行い、夏休み期間を楽しむ。 ② 展示（プラレール、切手のはりえ、ラキュー） 8 月 5 日（水）～7 日（金）切手のはりえ 作品作り 8 月 17 日（月）～19 日（水）プラレール、ラキュー展示作品作り プラレールは、セカンドの中央、切手のはりえとラキューは「かなめ美術館」と称して、事務室横カウンターに掲示・展示をする。 <当日> チケットを持って、各店舗を自由に回って楽しむ。ゲームで得点を競い、合計点でくじびきができる。スタッフは交代で店番を担当し、児童全員が楽しめるようにする。 2：30～3：00 2 年生 3：00～3：30 1 年生 3：30～4：00 3 年生以上
参加人員	120 名（内訳：スタッフ 28 名）

第 9 地区行事報告

行事名	スキップ夏まつり
日時	8 月 21 日（金）14 時 00 分～16 時 30 分
場所	高松小学校 体育館
内容	長い夏休みを楽しく過ごすための一つとしてスキップ夏まつりを計画する。2 年生以上から実行委員を募り、看板づくりや射的の的づくりなどの準備から、当日のお店番を子どもたちと一緒に作り上げていく。 ブース 射的、ヨーヨー、スーパーボールすくい、くじびき、ポッキンアイスコーナーの 5 か所を用意する。 ・ 射的 大きな段ボールを加工して的を作る。スポンジと吸盤が付いた弾を銃のおもちゃを使って打つ。 ・ ヨーヨー ヨーヨーを膨らますところから実行委員の子どもたちと一緒に準備する。ヨーヨーは釣れても釣れなくても 1 つもらえる。ゴムプール用意する。 ・ スーパーボールすくい ひとり 3 つまで持ち帰りができるようにする。ゴムプールを用意する。 ・ くじびき 箱に入ったくじを一人一枚引いてもらう。1 等から 4 等までを用意している。 ・ ポッキンアイスコーナー クーラーボックスに保冷剤を入れてポッキンアイスを入れておく。子どもの好きなタイミングでとりに来て、所定の場所で食べられるようにする。
参加人員	約 160 名（内訳：学童クラブ 120 人、一般 30 人、大人 10 人）

行事名	亀池を復活させよう
日時	11 月 2 日（月）14 時 15 分～15 時 00 分
場所	要小学校校庭
内容	要小校庭の池を復活させて、校内で飼っている亀が過ごしやすい環境を整える。この活動を通して、生命尊重の心情を育む。
参加人員	30 名（予定）

第 10 地区行事報告

行事名	夏の音楽会 & 打ち水（プールの水）
日時	8 月 2 日（土）10 時 30 分～12 時 30 分
場所	豊島区立駒込中学校 体育館、校庭
内容	[第 10 地区社明推進委員会] 『本郷中学校・高等学校日本文化部 & 豊島区立駒込中学校 吹奏楽部による音楽会 & 打ち水（駒中プールの水）』 ★第 1 回推進委員会～推進委員会団体との打合せ 日時・内容について、事務的なことは事務局が担当 ★実施要項・チラシ・ポスター配布→役割分担、会場の客席 配置や機器等により全体像や各自の行動を把握し安全に実施するためのルール ★打ち水の水は駒込中学校プールから吸い上げ、容器に入れる作業に四苦八苦の上委員さんの力より成功！！ - - - - - 9:00 会場・各コーナーの準備 10:30 オープニング 11:00 本郷中学校・高等学校日本文化部による演奏 11:30 駒込中学校吹奏楽部による演奏 12:00 閉会 12:10 打ち水開始 12:30 終了 ★参加者からの声も合わせての感想・・・ ・出演者と縁やゆかりのある方々の参加が多く、わが子の時代と合わせて、懐かしく聞いていました。 ・男子学生のための演奏は迫力もあり、聞く機会に恵まれない方々には、神秘的で高尚な感覚でした。 ・客席も設置したこともあり、演奏をじっくり聞き易く、酷暑の中で心安らぐ一時でもありました。 ・子ども達の打ち水の発想はユニークで面白い（打ち水効果）
参加人員	220 名 (内訳：乳幼児 9 名、小・中学生 51 名、高校生 13 名、大人 147 名)

第 11 地区行事報告

行事名	① 「啓発ポスター掲示」 ② 「地域清掃活動」「ふれあいサマーコンサート」
日時	① 令和 8 年 7 月 1 日（水）～7 月 31 日（金） ② 令和 8 年 7 月 4 日（土）午前 9 時 15 分～11 時 10 分
場所	① 第 11 地区管内（各町会・銀行・区民ひろばなど）の掲示板、育成委員自宅前 ② 第 11 地区管内、池袋中学校校舎内、池袋中学校アリーナ
内容	① 池袋本町小学校の 4 年生児童が 3 年生の時に社明活動のポスターを作成してもらい、「社会を明るくする運動・池袋本町小学校」のシールを貼り、育成委員でビニール袋をかけ地域に掲示しました。 ※小学生 4 年生児童にはお礼のノートを送りました。 【参加人数 110 名 （小学生 100 名 大人 10 名）】 ② 「地域清掃活動」 第 11 地区管内を 10 班に分けて、池袋中学校の生徒全員、先生方、PTA の保護者、育成委員で清掃しました。 清掃後、武道場にて反省会を行い、代表者に発表してもらいました。 ・たばこの吸い殻が多い ・自分でも気を付けたい ・たばこ、ペットボトル、缶が多い ・気が付いたら拾うようにしたい など、前向きな意見が聞かれました。 ※中学生には育成からノートを、池袋警察署からはジュースを頂き、生徒たちに送りました。 【参加人数 377 名 （中学生 332 名 大人 45 名）】 「ふれあいサマーコンサート」 清掃活動後、午前 10 時 40 分から池袋中学校アリーナにて吹奏楽部によるコンサートを開催しました。1 年生の歌と踊りもあり、たいへん盛り上がりしました。アンコールでは恒例の校歌を演奏していただきました。 ※吹奏楽部の生徒さんには育成からノートを、池袋警察署からはジュースを頂き、送りました。 【参加人数 220 名 （中学生 20 名 観客約 200 名）】
参加人員	約 652 名（内訳：小学生 100 名 中学生 352 名 大人 200 名）

第 12 地区行事報告書

行事名	地域清掃＆ふれあいゲーム															
日時	令和 8 年 6 月 28 日（日）8 時 40 分～12 時 00 分															
場所	・ 地域清掃：各小学校から西巣鴨中学校までの道のり及び 西巣鴨中学校周り ・ ふれあいゲーム：西巣鴨中学校体育館															
内容	①清掃活動は雨天のため中止 各学校に集合し西巣鴨中学校へ移動 参加対象 小学生・保護者・PTA・少年野球・社明推進委員 巣鴨小学校 育成委員集合 8:55 児童集合 9:15 巣鴨小学校～西巣鴨中学校(10：00 着) 朋有小学校 育成委員集合 8:45 児童集合 9:10 朋有小学校～西巣鴨中学校(9:45 着) 少年野球チーム 西巣鴨中学校に 9:50 に集合 ②セレモニー ③防犯〇×クイズの実施（中学生ボランティアが進行） 場所 西巣鴨中学校体育館 時間 10:15～10：30 ④ふれあいゲーム 場所 西巣鴨中学校体育館 時間 10：30～(委員・中学生ボランティア集合 9：00) 参加対象 小学生(付き添いの未就学児童含む) 参加方法 参加者にスタンプカードを配布 <table><tr><td>コーナー</td><td>場 所</td><td>担 当</td></tr><tr><td>射 的</td><td rowspan="3">西巣鴨中学校 体育館</td><td>育成委員・中学生ボランティア</td></tr><tr><td>風船ふくらまし</td><td>育成委員・中学生ボランティア</td></tr><tr><td>作って遊ぼう</td><td>民生委員・中学生ボランティア</td></tr><tr><td>かき氷</td><td>体育館外廊下</td><td>保護司・中学生ボランティア</td></tr></table> ⑤ポスター展示(社会を明るくする運動の啓もう活動) 巣鴨小学校 4 年生・朋有小学校児童有志・西巣鴨中学校 2 年生の ポスター展示（119 名） 展示場所 ・ 区民ひろば南大塚 ・ 南大塚地域文化創造館 ・ 区民ひろば朋有 ・ 中高生センタージャンプ東池袋 ・ 豊島区立東池袋フレイル対策センター			コーナー	場 所	担 当	射 的	西巣鴨中学校 体育館	育成委員・中学生ボランティア	風船ふくらまし	育成委員・中学生ボランティア	作って遊ぼう	民生委員・中学生ボランティア	かき氷	体育館外廊下	保護司・中学生ボランティア
コーナー	場 所	担 当														
射 的	西巣鴨中学校 体育館	育成委員・中学生ボランティア														
風船ふくらまし		育成委員・中学生ボランティア														
作って遊ぼう		民生委員・中学生ボランティア														
かき氷	体育館外廊下	保護司・中学生ボランティア														
参加人員	385 名 内訳：巣鴨小学校 42 名 保護者 25 名 未就学 10 名 朋有小学校 25 名 保護者 15 名 未就学 8 名 西巣鴨中学校 20 名 少年野球 40 名 保護者 15 名 来賓 21 名、民生児童委員 5 名、保護司 6 名、 2 地区育成委員 12 名、12 地区育成委員 22 名 ポスター作成：119 名															

更生保護ボランティアの日行事報告

行事名	国際更生保護ボランティア日
日時	4月17日（金）15時00分～18時30分
場所	巣鴨地蔵通り
内容	豊島区巣鴨地蔵通り商店街で「国際更生保護ボランティアの日」を記念したイベントが開催されました。開催日の4月17日は世界保護司会議で宣言が採択された「国際更生保護ボランティアの日」です。 イベントの目的は犯罪や非行をした人の立ち直りを支える更生保護ボランティアへの理解や保護司活動などのボランティア活動の認知向上を目指すものです。 第二回目の開催となる本年は、「社会を明るくする運動」との共催によるもので、式典は中山道待夢（タイム）に於いて行われ、福山守法務大臣政務官からのビデオメッセージが放映され、高際みゆき区長もご参列されました。国際保護ボランティアの世界共通のロゴマークも国内で初めて公開となりました。 街頭広報活動では、商店街公式イメージキャラクター「すがもん」をはじめ、東京都安全安心まちづくりを推進するマスコットキャラクター「みまもりいぬ」豊島区PRキャラクター「としまななまる」更生保護マスコットキャラクター「ほごちゃん」も参加し賑やかな雰囲気につつまれました。 夕方からの点灯式は、BBSによるカウントダウンでイエローライトアップの点灯が行われ、イメージカラーの黄色い光が華やかに浮かび上がり、巣鴨児童合唱団や社名合唱団の歌の参加により、式典が大いに盛り上がりしました。 4月17日前後の期間では、巣鴨地蔵商店街はもとよりサンシャイン水族館、大正大学8号館でもイエローライトアップやパネル展示等が実施されました。 このような地域一体のご理解や取り組みにより、「新たな被害者も加害者も生まない社会」をつくるための活動の輪が広がっていくことを大いに期待します。
参加人員	400名

区民のつどい行事報告

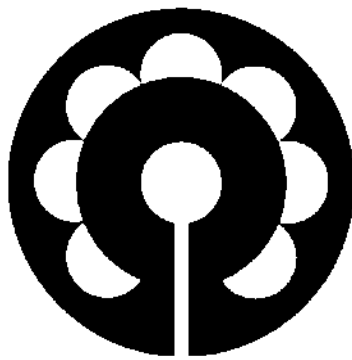
行事名	第 76 回社会を明るくする運動中央大会「区民のつどい」
日時	7 月 5 日（日） 13 時 30 分～17 時 00 分
場所	としまセンタースクエア
内容	今年の中央大会「区民のつどい」は昨年同様にとしまセンタースクエアに於いて開催されました。この「区民のつどい」は社会を明るくする運動の強調月間である 7 月に開催されます。今回もこの運動の啓発や広報を目的とした様々な企画が催されました。 第一部では、小中学生の作文コンテストの発表・表彰、第二部では、映画「記憶Ⅱ」の上映と、例年好評をいただいている社名合唱団による合唱がおこなわれました。 また会場後方のスペースでは、昨年同様に更生保護活動に深い関りをもって活動されている 7 団体「豊島区更生保護女性会」「豊島区民社会福祉協議会」「公益財団法人としま未来文化財団」「社会福祉法人やまて福祉会」[DAYBYDAY 豊島（石川珈琲）]「カフェふれあい豊島会」「一般社団法人 農福連携」の皆さまにブース出展でご協力いただき、各団体の活動紹介や啓発、活動に関連する物品販売も行いました。汗だくで着ぐるみに入り、盛り上げ役をこなし笑顔で力仕事を引き受けてくれる BBS チームも心強い大きな存在です。 当日は 7 月の暑さの中、天候に左右されないとしまセンタースクエアでの開催もあり、とても多くの方のご来場がありました。 第一部の作文コンテストでは小学生の部、中学生の部で委員長表彰、優秀賞に輝いた作品を受賞者自身が発表し、思いや体験を真摯に読み上げ、来場者一同深く感銘を受けました。 第二部の映画「記憶Ⅱ」はサブタイトルとして「少年たちの記憶と贖罪」となっています。本作は少年院を経験した少年たちの本音や葛藤、背景などに対し、大人や社会としてどのように向き合うべきかを考えさせられる作品でした。 最後は恒例の社名合唱団によるによる歌の発表です。今年は「瑠璃色の地球」「ひまわりの詩」「としま未来へ」の 3 曲です。日々練習を重ねた成果が存分に発揮された歌声が会場をあたたく包み込みました。 参加者皆様の協力によってイベントが盛り上がり「犯罪や非行のない明るい社会の実現」という基本理念が多いに発信できた行事になったと思います。
参加人員	284 名（内訳：一般 44 名、来賓・受賞者等 85 名、社名構成団体：155 名）

豊島区 BBS 会行事報告

行事名	① 区民のつどい ② 社会を明るくする運動第 6 地区大会「夏のお楽しみ会」 ③ 社会を明るくする運動第 6 地区大会「夏のコンサート」 （見込み）
日時	① 区民のつどい：7 月 5 日 10 時 00 分～18 時 00 分 ② 社会を明るくする運動第 6 地区大会「夏のお楽しみ会」 ：7 月 26 日 13 時 30 分～15 時 30 分 ③ 社会を明るくする運動第 6 地区大会「夏のコンサート」 （見込み）
場所	① 豊島区役所一階 としまセンタースクエア ② 豊島区立富士見台小学校 体育館 ③ 豊島区立西池袋中学校 体育館
内容	① 着ぐるみによる写真撮影の補助/物販販売等のブースの補助/会場設営、撤収作業/BBS 会の広報活動 実際に登壇し、BBS 会について広めることができた。活動を通して、BBS 会が地域社会で果たしている役割や、青少年支援の大切さを多くの人に知ってもらうことができた。 ② 会場設営/ゲームコーナーの手伝い 子どもたちとの交流を深めることができた。 ③ 未定
参加人員	21 名 ① 区民のつどい 15 名 ② 第 6 地区大会「夏のお楽しみ会」 6 名 ③ 第 6 地区大会「夏のコンサート」 未定

立教大学 BBS 会行事報告

行事名	① 第二回 国際更生保護ボランティアの日 ② 社会を明るくする運動 中央大会 「区民のつどい」
日時	① 4 月 17 日（金）15：00～18：00 ② 7 月 5 日（日）10：00～18：00
場所	① 巣鴨文化創造会館 ② 豊島区役所
内容	① 豊島区巣鴨で開催された本イベントに、豊島区 BBS 会とともに参加した。イエローライトアップ点灯式にて BBS 会の活動を紹介する時間をいただき、多くの方々に私たちの存在を知っていただく良い機会となった。また、池袋サンシャインシティにおいて、「BBS 会」および「社会を明るくする運動」に関する啓発動画を作成・放映させていただく機会にも恵まれた。これらの広報活動によって、より多くの人が罪に問われた人と共に生きていく社会について考えるきっかけになったのではないかと思う。 ② 昨年度に引き続き、会場設営から参加した。当日は農福連携ブースの運営を担当したほか、第 2 部冒頭にて BBS 会の活動報告を行う機会をいただいた。今年の運動テーマが「保護司をはじめとする更生保護ボランティアについて広く知ってもらおう」であったこともあり、豊島区広報誌のインタビューをお受けすることができた。活動報告に向けては豊島区 BBS 会と協働して準備を進め、結果として立教大学 BBS 会の活動についても広く知っていただくことができたと感じている。一方で、本イベントの来場者は、すでに更生保護活動に理解のある保護司や民生委員の方々が多い印象を受けた。今後は、まだ活動を知らない一般市民の方々へ広く働きかけ、いかに参加を促していくかが、広報啓発活動における重要な課題であると感じた。
参加人員	① 2 名 ② 7 名



社会を明るくする運動
シンボルマーク「ひまわり」

このマークは、ひまわりの花を図案化したもので、
太陽に向かって咲くひまわりが犯罪や非行のない
明るい社会を築こうとするこの運動の趣旨に
ふさわしいことから選定されたものです。